

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【公開番号】特開2013-68315(P2013-68315A)

【公開日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-018

【出願番号】特願2011-209378(P2011-209378)

【国際特許分類】

F 16 D 27/108 (2006.01)

F 16 D 27/112 (2006.01)

【F I】

F 16 D 27/10 3 2 1 A

F 16 D 27/10 3 4 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月18日(2014.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

周方向に延びるように形成された第1カム面を有する第1カム部材と、

前記第1カム部材に対して所定の角度範囲で相対回転可能であり、前記第1カム面に対向する第2カム面を有する磁性体からなる第2カム部材と、

前記第1カム面と前記第2カム面とを離間させるように前記第2カム部材を付勢する付勢部材と、

前記付勢部材の付勢力により前記第2カム部材と接触し、前記第2カム部材との間に摩擦力を発生させる摩擦部材と、

前記付勢部材の付勢力に抗して前記第2カム部材を前記摩擦部材から離間させる磁力を発生する電磁石とを備え、

前記電磁石は、電磁コイルと、前記電磁コイルを収容する環状の凹部が形成されたヨークと有し、前記電磁コイルへの通電により発生する磁力によって前記第2カム部材を前記ヨークに吸着し、

前記第1カム面及び前記第2カム面は、前記摩擦力による前記第1カム部材と前記第2カム部材との相対回転により、前記第2カム部材を前記摩擦部材に押し付けるスラスト力を発生させる電磁クラッチ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

[1]周方向に延びるように形成された第1カム面を有する第1カム部材と、前記第1カム部材に対して所定の角度範囲で相対回転可能であり、前記第1カム面に対向する第2カム面を有する磁性体からなる第2カム部材と、前記第1カム面と前記第2カム面とを離間させるように前記第2カム部材を付勢する付勢部材と、前記付勢部材の付勢力により前記第2カム部材と接触し、前記第2カム部材との間に摩擦力を発生させる摩擦部材と、前記

付勢部材の付勢力に抗して前記第2カム部材を前記摩擦部材から離間させる磁力を発生する電磁石とを備え、前記電磁石は、電磁コイルと、前記電磁コイルを収容する環状の凹部が形成されたヨークとを有し、前記電磁コイルへの通電により発生する磁力によって前記第2カム部材を前記ヨークに吸着し、前記第1カム面及び前記第2カム面は、前記摩擦力による前記第1カム部材と前記第2カム部材との相対回転により、前記第2カム部材を前記摩擦部材に押し付けるスラスト力を発生させる電磁クラッチ。